

下関の芸術・文化

芸術の秋恒例の市芸術文化祭。平成25年度は、美術部門に445点、文芸部門に341点の出品がありました。市芸術文化祭の各部門入賞者と、芸術文化振興奨励賞の受賞者を紹介します。

詳細 市民文化課(☎231-4691)



「じん君と遊んだ日」
▲大賞 綿谷美智子

各部門の入賞者(敬称略)を紹介します。

※各賞の内訳 ①市長賞、②市議会議長賞、③教育長賞、④市文化協会会長賞、⑤菊川文化協会会長賞、⑥豊田文化協会会長賞、⑦豊浦文化協会会長賞、⑧豊北文化協会会長賞、⑨文化連合会長賞

■美術部門

〔大賞〕

綿谷美智子(洋画)

▼第1部(日本画、洋画、版画、水彩画等、彫刻、立体作品)

- ①前野法広
- ②片岡和子
- ③高津千加子
- ④山田壽満子
- ⑤石井直美

▼第2部(書)

- ①末光ハマ子(巨空)
- ②内田一成(一成)
- ③岡田雅子
- ⑦篠原邦行

▼第3部(工芸、デザイン、写真)

- ①入江義次
- ②Lecca Lucio Tiberio
- ③大西邦彦
- ⑥濱田一雄
- ⑧大畑芳恵

■文芸部門

〔大賞〕

大西一實(随筆)「夏の避難体験」

- ①羽嶋小鼓(俳句)
- 「提灯になる河豚円くまるく乾す」
- ②金子静子(短歌)
- ③井藤一明(川柳)
- ⑨川原利江(短歌)



▲第3部市長賞 入江義次
「海女小屋料理」



▲第1部市長賞 前野法広
「猿猴塚の猫(下関市上柵路子)」



=映像部門= ■柴口勲さん

会社員の傍ら、下関市内を中心に自主映画制作を続けています。作品は、セリフに頼らず映像でメッセージを伝えることを心がけています。出演者や関係者や観客に自分の胸の内を伝えることは難しいと感じますが、そのぶん思いが届いたときの喜びは大きいです。誰かが希望を得るような作品を作りたいと思っています。



|| 文芸部門 ||

■菊舎顕彰会

(岡昌子会長、351人)

江戸時代の旅人・菊舎は、諸芸に通じた文人で、その生き方に魅了されます。県外の会員も多く、各地から情報が寄せられ、新資料の発見があったときの喜びはひとしおです。今年、『菊舎慕情』『田上菊舎句集』を刊行しました。これからも活動を通して、会員みんなで菊舎の素晴らしさを、広く伝えていきたいと思っています。

芸術文化振興奨励賞 受賞団体・受賞者の声

▶第2部市長賞 末光ハマ子(巨空)「季商隠詩」

